

令和7年度 第2回健康おかざき21計画推進協議会 会議録

日時:令和8年2月25日(水) 午後1時30分から3時00分まで

場所:岡崎げんき館 1階 多目的室

出席委員:内田委員(議長) 浅田委員 市川委員 神谷委員 小出委員 櫻井委員 重田委員 杉原委員  
東原委員 森田委員 矢野委員

欠席委員:中根委員 長谷川委員 守谷委員

傍聴者:なし

事務局:保健部長 加藤 保健所長 片岡

保健部次長兼保健政策課長 野澤 健康増進課長 青山 保健政策課副課長 畔柳

保健政策課保健政策係長 森田 他保健政策課職員3名

内容:開会

部長挨拶

議題

1 健康おかざき21計画(第3次)(案)分野別の取組

2 作業部会での検討事項

その他

所長挨拶

閉会

議題1 健康おかざき21計画(第3次)分野別の取組

事務局	議題1「健康おかざき21計画(第3次)分野別の取組」(前半)を資料に沿って説明。
議長	事務局の説明について、御意見、御質問があればお願いしたい。
委員	糖尿病の有病率が高く、さらに身体活動量が少ないという現状について理解した。歩くという点では、交通事情も関係していると思う。市ではスマートウェルネスシティの推進として、自然に歩けるような取組をしていると思うが、最近の取組はどのようなものか。 また、おかざき健康子まめチャレンジについて、学校単位での実施をしているとのことだが、取組結果のフィードバックはどのようにしているのか。また、より多くの学校に参加してもらうために、学校と連携して行うのであれば、夏休みの課題の一つとして提出してもらうのはどうか。
事務局	保健所だけでなく、まちづくりに関する部局において、歩道などハード面の整備や魅力あるまちづくりとして、QURUWA エリアなど、歩いて周遊できるまちづくりを進めており、成果としては少しずつ現れてきているのかなと考えている。引き続き、関係各課と情報共有しながら進めていきたい。 子まめチャレンジのフィードバックは、すべての学校にできているわけではないが、参加校のチャレンジシートの集計を行い、その結果を基に、学校に出向き、出前講座を実施して、どうしたら野菜を食べられるようになるか、などのグループワークを行った事例はある。 夏休みに取り組んでもらうという御意見については、実施するにあたり、担任の先生の負担など調整すべき点があるが、先生方・教育委員会にも投げかけをしていきたいと思う。
議長	事務局の説明から、身体活動量の増加に向けた取組が必要であり、引き続き、市全体として歩く・運動量を増やす取組を継続できるとよい。また、子まめチャレンジについては、参加者が増えるとうい。フィードバックで出前講座の受講となると、食育に力を入れている学校とそうでない学校があ

	り、参加する・しないにばらつきが出るのではないかと考える。
委員	分野5たばこについて、大学の喫煙所について、前回の会議からの進捗はあるか。 分野6アルコールについて、適正飲酒量という表現だと、飲酒を推奨しているような印象を受けるため、飲酒限量などの表現を変えてはどうか。
事務局	国から示されているガイドラインにおいても、飲酒しない方が健康にはよいという流れに代わってきている。成人の飲酒については、規制されているものではなく、個人の判断になる部分もあるが、国のガイドライン等に沿った正しい情報を提供していきたいと考えている。
議長	大学の喫煙所について、本学では喫煙所にチラシやポスターを掲示するなどの対応を始めた。三次喫煙(服や髪の毛に付着した有害物質の影響)について、知らない学生もいたため、周知が必要であると感じている。
事務局	行政機関の敷地内禁煙等の調査は行っているが、大学を含む民間の事業所への調査は実施できていない。健康増進課では、出前講座のメニューにたばこに関する内容があるため、希望の大学等に出向くことは可能である。
委員	事業所に向けた健康づくりのアプローチについて、事業所によっては、健康経営に熱心に取り組んでいるところも増えてきている。その中で、地元の企業に対して、啓発などの具体的な取組についてどのようなことを実施しているかを教えてほしい。
事務局	おかざき健康宣言優良事業所の表彰や事業所対抗ウォーキングチャレンジなどのイベントを開催している。保険組合を自社でもっているような大企業は、健康づくりの担当者が配置されているため、自社での健康経営の取組がしやすいと思われるが、中小企業においては、支援が必要な企業も多いと感じているため、商工会議所さんにも御協力いただきながら支援方法を検討していただきたいと考えている。 スマートウェルネスシティに関連して補足。東京・大阪・愛知で生活習慣病の割合が高いのは愛知・大阪・東京の順。東京都で暮らす人々が愛知より運動を意識しているかという点については、毎日電車通勤・徒歩通勤等で歩かされていることが数値に現れていると思われる。三河地方は自動車産業が集中的に栄えている地域であり、ハードルは高いが、働き世代の人たちが運動やウォーキングに取り組むきっかけとなるような仕掛けをしていく必要があると考える。
委員	地域でのリーダーの教室等の活動は年間 5719 件。1 日に換算すると 16 か所実施していることになるが、運動習慣等の結果に現れていないのは残念。手軽にやれることは、ウォーキングとラジオ体操かなど考える。ウォーキングコースについては、もっと周知をしていただけるとよいと考える。ラジオ体操については、令和8年度にリーダーの研修会で学んでくるため、指導をしっかりと身につけてきたい。8月のラジオ体操の会でも連携できるといいなと考えている。
事務局	議題1「健康おかざき 21 計画(第3次)分野別の取組」(前半)を資料に沿って説明。
議長	事務局の説明について、御意見、御質問があればお願いしたい。
委員	事業所対抗ウォーキングチャレンジについて。商工会議所での周知は行ったか。
事務局	メールで配信した。
委員	来年度も継続するとのことで、事業所数がどんどん増えるといいなと思う。 岡崎駅伝には、事業所でチームを組んで参加しているところが非常に多いので、そのような形で盛り上がっていくとよい。 おかざき健康宣言優良事業所では、毎年同じ事業所が入賞しているのか。
事務局	同じ事業所もある。そのため、殿堂入りという制度を作った。
委員	市長から賞状をもらったり、地方紙に写真が載ったりすることは、事業所にとって一定のインセンティブとなるため、どんどん広がるとよいと思う。

	コンビニエンスストアでのポップの掲示について。商品の売り上げについては把握しているか。
事務局	掲示期間中の売り上げについては、岡崎地区と近隣地区と比較すると増加傾向にあると伺っている。コンビニでは、サラダだけでなく、野菜が多めに入ったパスタなどの展開もされているので、これらの商品も含めると手に取る客としては増えていると思う。
委員	今回は野菜摂取についての取組だが、減塩や、高齢者向けにたんぱく質の適切な摂取など、いろいろな発展があるかなと思う。
委員	コンビニでのポップ掲示について。令和7年度はファミリーマートとセブンイレブンでの実施だったが、大手でいうとローソンなどは掲示の予定はないのか。
事務局	取組をしている2社は、市と包括連携協定を締結している企業である。まずは、それらの企業と連携して取組を進め、徐々に広がっていくとよいと考えている。
委員	他の2社にも協力してもらっているという点を伝えて、協力を依頼できるとよいのでは。

## 議題2 作業部会での検討事項

事務局	議題2「作業部会での検討事項」について説明。
議長	事務局の説明について、御意見、御質問があればお願いしたい。

## その他

事務局	その他について説明。
議長	会議全体を通じて、御意見、御質問があればお願いしたい。
委員	飲食店の禁煙について。届出を出していないのに、店内での喫煙可としている店がたくさんある。届出を出さないと吸える店があると、そのような店が増えてしまうのが心配。指導や調査などについて検討してもらいたい。 野菜摂取については、ずっと350gと言っているがなかなか増えてこない。一つの目安として小学校給食での野菜量は把握しているか。
事務局	たばこについて、令和8年度に向けて実施を予定していることとして、まずは法改正を知らない事業者さんがいない状況にする必要がある。チラシ等の啓発物を作成し、周知を行っていく。食品衛生協会さんにも御協力いただきながら進めていきたいと考えている。 学校給食については、野菜量よりも必要なカロリー・栄養価などをきちんと計算して作られている。野菜は優先度が低い。また、学校給食の課題として、野菜を増やすことで残食の問題もあり、なかなか難しいかもしれない。
委員	野菜摂取に関連して、社員食堂などではどうなっているのか。
事務局	特定給食施設に該当する社員食堂については、保健所の管理栄養士が相談・指導を行っている。それ以外の大量調理施設については、社員の健康維持のためにきちんとやってほしいという事業者と、なるべく安く提供してほしいという事業者がおり、すべての社員食堂が健康に即する形での提供はできていない。
委員	事業所対抗ウォーキングチャレンジに参加された企業の声などは聴いているか。また、次年度に向けてチラシを作成する際にそれらの声を掲載していく予定はあるか。
事務局	イベント終了後に、参加者に向けたアンケートという形で御意見を伺っている。その中で、継続してほしいなどの声をいただいている。また、事業の改善点についてもいただいているため、それらの御意見を踏まえ、次年度の計画を立てていく予定。また、参加者の声をチラシに入れるという御意見については、掲載する方向で調整していきたい。
委員	参加企業の声がチラシに載ることで、他の企業の参加意欲になると思うため、ぜひ掲載してほしい。

議長	働き世代への取組について多くの御意見をいただいたが、若年層へのアプローチも必要だと考える。大学生として、若者に特化したアプローチ方法について、どのような方法をとると響くのか、御助言いただきたい。
委員	自分自身は SNS を日々見ていることが多い。若い世代には、SNS や動画を活用して広げていくと、伝わりやすいのかなと思う。岡崎市でいうと東海オンエアは若い世代に人気が高いので、そのような形で動画などを活用していけるとよいと考える。
議長	SNS の発信については、本会議でもたびたび話題に上がっているが、今のところ、実際には若者には届いていないということだと思う。そのあたりも踏まえて、今後どのように発信していくか検討が必要である。